

水稻生育情報 (No.2)

令和6年6月12日
茨城県 県西農林事務所 経営・普及部門
(筑西地域農業改良普及センター)

【気象と生育の概況】

本年の4月～6月第2半旬までの気象は、日平均気温が平年より高く（平年+2.0℃）、降水量は平年よりやや多く（平年比106%）、日照時間は平年並～やや少ない（平年比96%）状況です。

6月10日現在の水稻定点調査における管内の「コシヒカリ」生育状況は、ほ場によってばらつきがあるものの、草丈は平年並、茎数は平年よりやや多く、葉色は平年並となっています。

圃場によっては中干し適期に入っています。

表1 水稻定点調査結果（6月10日現在：コシヒカリ）

調査地点	田植日 〔月日〕	植付株数 〔株/坪〕	草丈 〔cm〕	茎数 〔本/m ² 〕	葉色 〔葉色板〕	葉色 〔SPAD値〕
筑西市	5月6日	50	40	489	4.7	41.2
一本松	(5月4日)	(52)	(38)	(335)	(4.3)	(39.9)
桜川市	5月8日	52	32	292	4.2	36.4
真壁町飯塚	(5月6日)	(51)	(36)	(334)	(4.6)	(40.7)
下妻市	5月3日	46	42	480	4.9	41.7
加養	(4月30日)	(47)	(42)	(413)	(4.9)	(42.8)

※()内は令和元年～令和5年の5カ年平均値

【これからの栽培管理のポイント】

●中干しについて

5月上旬までに移植したほとんどの水稻は、既に中干し時期です（開始時期の目安：「コシヒカリ」及び「にじのきらめき」では目標穂数400本/m²の場合は茎数320本/m²のとき）。分けつ盛期になると茎数は急激に増えるため、中干しの適期を逃さないようにしましょう。

（※詳細はR6 水稻生育情報をNo.1参照）

●イネ縞葉枯病について

ヒメトビウンカ（以下、ウンカ）が媒介するウイルス病で、感染すると減収につながるため、ウンカを対象とした防除が重要です。

水稻生育情報 No.1 でもお知らせしたとおり、本年の水田内におけるウンカの防除適期は平年より早く、6月12日現在、下館アメダス地点では6月6日～6月13日（平年より7日早い）となっています。防除が適期よりも1週間程度遅れても効果は期待できますので、特に育苗箱施薬や共同ヘリ防除を実施しないほ場では、6月20日頃までに本田防除を行いましょう。



写真 イネ縞葉枯病の症状

